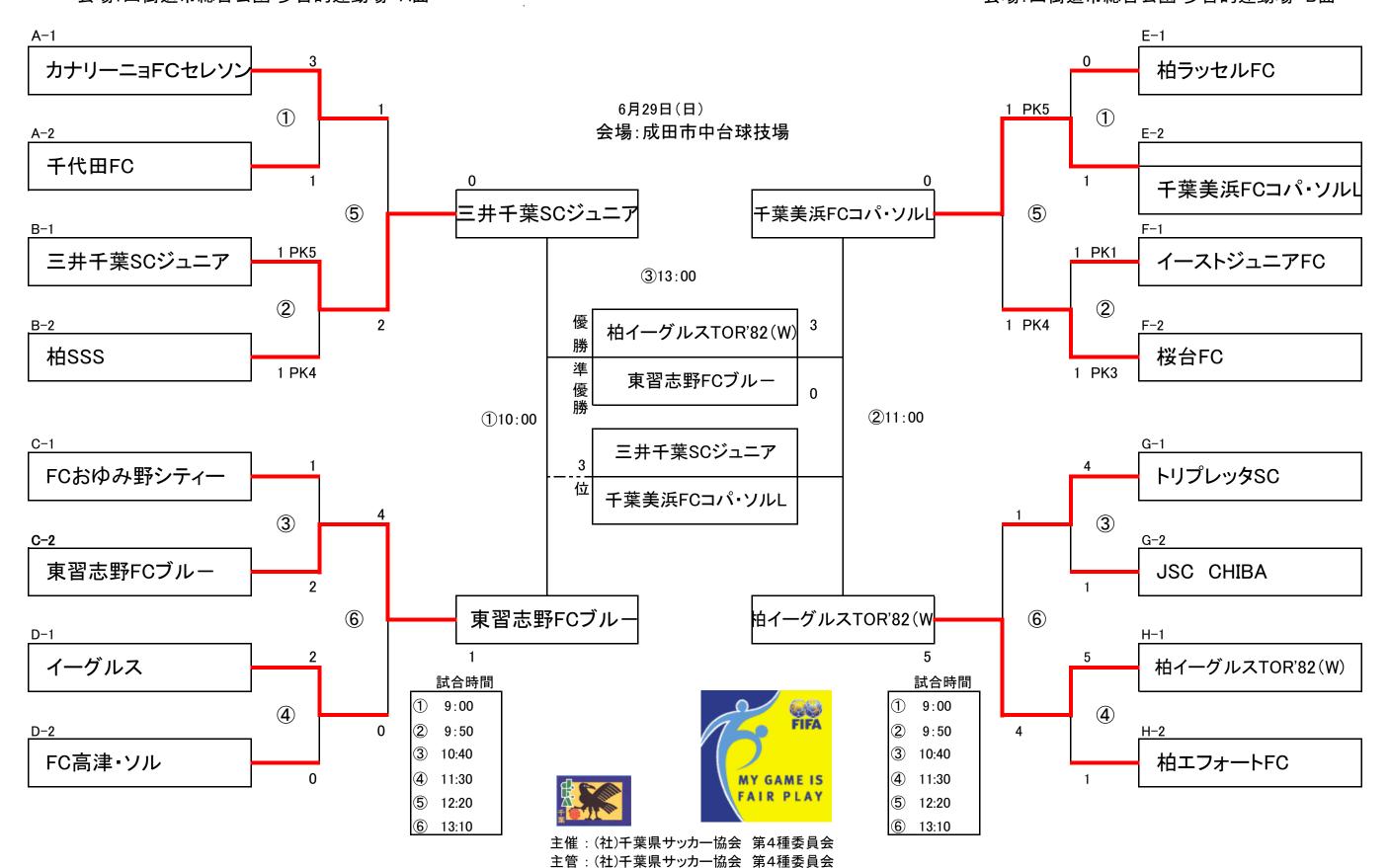


6月15日(日) **27** 会場:四街道市総合公園 多目的運動場 A面 6月15日(日) 会場:四街道市総合公園 多目的運動場 B面



第5ブロック(佐倉支部、成田支部、八千代支部、四街道支部)

第23回千葉県少年サッカー選手権4年生大会

戦評

2008年6月29日 10:00 キックオフ

●準決勝第1試合

三井千葉SCジュニア 対 東習志野FCブ ν - 0 (0-0、0-1) 1

2008年6月29日雨脚が激しくなる中、東習志野のキックオフで試合が開始され、天然 芝のピッチにはいくぶん水が浮き出していた。

立ち上がりから両チームは互いに持ち味を出しボールへのプレスが早い状況の中、 東習志野は6番の三木君を中心にFW10番の大谷君をターゲットにした攻撃が早い、 一方、三井千葉も10番の長沢君を中心に攻撃を組み立て、一進一退の攻防の中 前半終了の笛が鳴る。

後半開始1分、東習志野は立て続けにコーナーキックを得る、その2本目キッカー 6番三木君のボールに10番の大谷君が頭で合わせファインゴール、東習志野が先制点 を得る。

直後、三井千葉も立て続けにコーナーキックを得るが決定機を作れない、又三井千葉 9番里見君、11番菊池君の個人技で突破を試みるが、東習志野の固い守りでなかなか チャンスに到らない、その後両チームともに激しい攻防を繰り広げるが思うように走らな いピッチに最後のチャンスメイクが出来ない中、試合終了の笛。

東習志野が決勝戦への切符を勝ち取った、両チームとも気迫溢れるプレーを展開し 実に見ごたえのある試合であった。

(5ブロック 技術委員 羽野芳生 記)

6月29日(日)AM 11:00 キックオフ 準決勝第2試合

柏イーグルス TOR '82 (W) VS 千葉美浜 FC コパソル L 5 $(2-0 \ , \ 3-0) \ 0$

(前半)

第1試合より更に雨足が強まり、芝に水が浮き重いピッチコンディションの中コパソルのキックオフで試合開始、両チーム慣れないグランドコンデションの中バランスを崩し転倒する場面が多く、中々ボールが思うように前に運べない状況が続く中イーグルスの右サイドが接極的に崩しにかかりコパソルディフェンスがたまらずファール6分・9分立て続けにイーグルス右サイドからフリーキックのチャンスいずれもゴール枠を捉えられない、13分更に攻撃を仕掛けイーグルス 9番(松本君)からのセンタリングに、重いグランドでのコパソル DFのクリアミスで裏に抜け出た10番(間中君)が蹴りこみ待望の先制点を上げる、防戦一方のコパソルもチャンスを伺うが中々前線にボールが入らない状態、17分イーグルス17番(小林君)ペナルティエリア内ドリブルで仕掛けディフェンス2人を振り切り落ち着いて右スミに決め2点目を上げる

(後半)

攻撃の糸口がつかめないコパソルが立ち上がり接極的に前線にボールを送るがことごとく重いグランドでボールが失速、両チーム共中盤でボールが動かず一進一退の攻防が続く10分局面を打開すべくコパソル43番(伊勢君)投入13分過ぎイーグルス4番(遠藤君)からのパスを9番(松本君)フリーで決め3点目、たたみ掛けるイーグルスがゴール前混戦からこぼれ球を17番(小林君)今自身2点目を押し込む15分イーグルス一挙に8人メンバー交代、終了間際19分イーグルス14番(海老原君)がゴール前からシュート8番(小菅君)が反応し落ち着いてゴールを決めタイムアップ、5-0でイーグルスの勝利、順当に決勝戦にコマを進める。グランドコンディションが悪い中イーグルスの個人技で局面を打開出来る能力、ゴールに向かう姿勢、状況判断力がコパソルより上回りほぼ年代での目標は達している内容であった。

(5 ブロック技術委員 藤野義博 記)

第23回千葉県少年サッカー選手権4年生大会

戦評

2008年6月29日 13:00 キックオフ

●決勝戦

東習志野FCブルー 対 柏イーグルスTOR '82W 0 (0-1、0-2) 3

梅雨空の中、成田中台球技場で千葉県4年生のNO1を決める試合が始まった。 東習志野のキックオフ、水を多く含んだピッチでボールコントロールが難しい中 柏イーグルスの右サイドが東習志野陣内に攻め込む、柏イーグルス11番江村君の コーナーキック等序盤柏イーグルスのペースでゲームが進むが、そんな中前半5分 右サイドから柏イーグルス18番湊君が流し込んだボールに11番野口君が合わせ 弾かれたボールを17番小林君がゴール、1点目が入る。

終始ポゼッション支配は柏イーグルスだがそんな中前半6分、裏に出たボールに 東習志野10番大谷君が反応、柏イーグルス1番GK坂井君と1対1になり 決定的な得点の場面でのファールで坂井君にレッドカード、やむを得ずフィールド プレイヤーの14番海老原君に替わりGK16番木村君に交代した、ゲームは続くが 1人少なくなっても柏イーグルスのペースは衰えず、裏のスペースへの東習志野の 良い場面が何度かあったが前半終了。

5分のインターバルを終え後半柏イーグルスのキックオフで開始され1点を返したい 東習志野だが柏イーグルスの右サイド突破が目立つ状況下、後半5分柏イーグルス10番間中君の1本目のシュートが打たれるが、東習志野GK30番関根君の正面にボールが 吸い込まれゴールを割ることが出来ず、続けざまにシュートが打たれるがゴールを割る事 が出来ない、何とか東習志野も裏のスペースに出ようとするが柏イーグルスのボール ポゼッションになす術がない、セカンドボールも柏イーグルスが支配し後半の10分に 柏イーグルス10番間中君のコーナーキックから19番福田君がドンピシャリのヘッドで 2点目が入る。

その後柏イーグルス9番松中君が繰り返しのファールによりイエローカードをもらう 5分間程膠着状態が続くが、なかなか東習志野ペースにならない、雨で濡れたピッチと ユニフォームで選手達の足は止まってきた終了間際後半19分柏イーグルス3番皆川君が ドリブル突破、止めの3点目が入りそしてレフリーの笛が鳴り東習志野の善戦虚しく 柏イーグルスの勝利で終わる。

両チームの選手の夢が目標に変わる事を心から祈りたい。

(4種委員会 技術委員 奥寺敏彦 記)